

# レ ス ス プ ラ ン

3 学年            第 2 回    ( 自 国 理 解 )

テーマ：「日本と他の国；似ているところ・違うところ」

授業の目標：

- (1) 日本・日本文化に興味を持つ
- (2) 文化の違いについて考える



用意するもの：

ALT

担当教師

- 自分の国についての（例：食べ物、家、服装）ことを発表できるよう準備しておく
- 「違いは何？」プリント（各グループ1枚）
- 日本との2つの異なる国についての絵（食べ物、家、服装）

- 子どもたちを4～5人のグループにわけておく
- 子どもたちがALTの母国のことがらについて質問する際に手助けをする（家に畳の部屋がありますか。生徒は制服を着ますか等）

時間	活 動	気づいた点
1分	ALTと担当教師のあいさつの後、担当教師は「今日は自分たちの国について考え、日本と世界の他の国の文化の違いを知ってみよう」と本時の目標を伝える。	
10分	ALTは自分の母国、特に食べ物、家、学校、服装等について、絵や実物を使って紹介する。子どもたちはALTが紹介したそれらのことについてさらに質問する。担当教師は子どもたちが質問できるよう手助けする。	
11分	担当教師は子どもたちを4～5人のグループにわける。ALTは各グループに「違いは何？」プリント一枚と、日本の食べ物や家、服装に関する代表的な絵や写真を渡す。それらを見ながら各グループは次の質問に対して話し合う。 1. 日本ではどんな種類の食べ物が食べられているか。お祝いや祝日のときはどうか 2. 日本では人々はどのような服装をしているか。お祝いや祝日のときはどうか 3. 日本では家はどのような感じか。どんな物を使って造られているか。日本の家の間取りはどんなふうか。 各グループは自分たちの考えをプリントに記入する。担当教師はグループをいくつか選び、全体の前で発表させる。	
15分	ALTは2つの別の国についても上記の質問と同様のこと（食べ物、家、服装）についての絵を見せる。「違いは何？」のプリントを使って、子どもたちはできるだけ多くの違いを挙げる。担当教師はなぜそのような違いがあるのかを考えるよう促す。（例えば、カナダの家が日本より大きいのは狭い土地に多くの人々が暮らしている日本と比べて土地に余裕があるからなど）その後、各グループは黒板の紙に自分たちの考えを記入し、クラス全体に対して発表する。	
6分	担当教師は、子どもたちに日本を含めた3ヶ国に関して、どう似ているかを尋ねる。担当教師は違いはあるかもしれないが似通った理由からそれらは存在していることを伝える。（例えば、家というものは寒さや危険から身を守るためにあるなど）	
2分	担当教師は子どもたちに自分の国のことを知ることと同時に他の国について知ろうとすることが大切であると伝える。さらに、表面的には違って見えても、深い部分では共通点があるということを強調する。国の状況や気候、歴史などの違いは国と国の間に見える違いに影響を与えているということに気づかせ、まとめる。	